

# ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・アセアン・フォーカス)

## 運用報告書(全体版)

第11期(決算日2020年9月14日)

作成対象期間(2019年9月13日~2020年9月14日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2009年12月7日から2024年9月12日までです。	
運用方針	野村アセアン株マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてアセアン(東南アジア諸国連合)加盟国の企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・アセアン・フォーカス) マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 アセアン加盟国の企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・アセアン・フォーカス) マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配	み金騰落	期中騰落	期中騰落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
7期(2016年9月12日)	13,079	150	△ 1.1	163.58	△ 1.6	93.2	—	1,398
8期(2017年9月12日)	14,793	250	15.0	196.81	20.3	98.3	—	1,341
9期(2018年9月12日)	14,135	200	△ 3.1	198.05	0.6	98.7	—	1,366
10期(2019年9月12日)	14,467	250	4.1	205.40	3.7	99.4	—	1,682
11期(2020年9月14日)	11,312	50	△21.5	162.95	△20.7	95.2	—	928

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*ベンチマーク（＝MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース））は、MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

\*MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（出所）MSCI、ブルームバーグ、為替レート（対顧客電信売買相場仲値）

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2019年9月12日	14,467	—	205.40	—	99.4	—
9月末	14,169	△ 2.1	200.54	△ 2.4	95.1	—
10月末	15,010	3.8	206.17	0.4	97.6	—
11月末	14,681	1.5	205.21	△ 0.1	96.9	—
12月末	14,885	2.9	210.87	2.7	97.6	—
2020年1月末	14,291	△ 1.2	202.32	△ 1.5	96.5	—
2月末	13,528	△ 6.5	187.89	△ 8.5	97.0	—
3月末	9,502	△34.3	142.04	△30.8	95.6	—
4月末	10,286	△28.9	152.93	△25.5	95.8	—
5月末	10,790	△25.4	159.28	△22.5	95.8	—
6月末	11,424	△21.0	167.81	△18.3	95.9	—
7月末	11,376	△21.4	165.25	△19.5	95.3	—
8月末	11,686	△19.2	168.37	△18.0	96.1	—
(期末)						
2020年9月14日	11,362	△21.5	162.95	△20.7	95.2	—

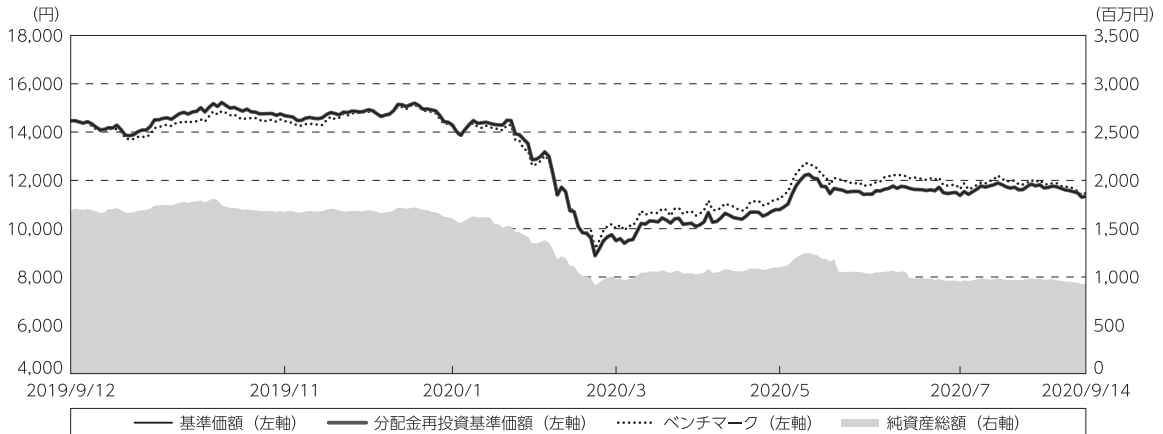
\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年9月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース）です。ベンチマークは、作成期首（2019年9月12日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

- (横ばい) 米国で「香港人権・民主主義法案」が成立したことを受け米中関係悪化が懸念された一方、米中貿易協議が部分合意に達し、世界景気の先行き不透明感が和らいだこと
- (下落) 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、世界的な経済活動の停滞による景気減速への懸念が高まったこと、為替市場で各投資対象通貨に対して円高が進行したこと
- (上昇) 米国やアセアン各国で大型の経済対策が成立したこと、欧米での新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化しているとの見方が広がり、アセアン各国の経済活動再開への期待が高まったこと、為替市場で各投資対象通貨に対して円安となったこと
- (下落) 世界的な新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感が高まったこと、米中対立の激化が懸念されたこと

## ○投資環境

アセアン株式市場は、期初、米中貿易協議の進展期待の後退、米景気減速への懸念などから下落して始まりましたが、米中貿易協議が部分合意に達し、世界景気の先行き不透明感が和らいだことなどを背景に上昇しました。2019年11月中旬以降は、米中貿易協議を巡る不透明感や、米議会の「香港人権・民主主義法案」可決による米中関係悪化への警戒感などから下落しましたが、その後、米中貿易協議進展への期待や中国の金融緩和策の発表などを背景に反発しました。2020年1月下旬からは、中国での新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす悪影響が懸念され下落し、2月下旬から3月下旬にかけて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や景気見通しに対する不透明感から投資家のリスク回避姿勢が強まり大幅に下落しました。3月下旬には、米国をはじめとする各国の大型経済対策を好感したことから上昇に転じ、その後も、6月上旬にかけて、欧米で新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化しているとの見方が広がったこと、アセアン各国の段階的な経済活動再開の動きや市場予想を上回る米経済指標を受け、アセアン諸国の景気回復への期待が高まったことなどから上昇基調を維持しました。6月中旬には、世界的に新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念が高まったことなどから軟調に推移し、期末にかけても、米中対立の激化などが懸念され下落基調で推移し、当期においてアセアン株式は下落しました。

為替市場では、期初、米中貿易協議進展への期待などから米ドル高・円安が進行しましたが、2020年2月下旬から3月上旬にかけて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから米ドル安・円高が急速に進行しました。その後、米ドル需要の高まりなどを背景に米ドル高に転じましたが、米景気の先行き不透明感や米国の低金利が長期化するとの観測、米中対立の激化などから米ドル安が進み、当期においても、米ドル安・円高となりました。対アセアン諸国通貨でも当期において総じて円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ  
[野村アセアン株マザーファンド]

・期中の主な動き

＜投資比率を引き上げた主な業種・銘柄＞

- ①資産の質が健全で、景気後退局面でも他社比で安定的な業績を維持出来ると判断したBANK CENTRAL ASIA（インドネシア／銀行）
- ②堅調な業績が見込まれ、バリュエーション（投資価値評価）が割安と判断したPUREGOLD PRICE CLUB INC（フィリピン／食品・生活必需品小売り）

＜投資比率を引き下げた主な業種・銘柄＞

- ①不良債権比率の増加や、海外銀行の買収案が懸念されたBANGKOK BANK(F)（タイ／銀行）
- ②株価が大きく上昇し、バリュエーションの割安感が薄れていたBANK BTPN SYARIAH TBK PT（インドネシア／銀行）

・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

[ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・アセアン・フォーカス）]

・組入比率

主要投資対象である[野村アセアン株マザーファンド] 受益証券を、期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当期は、ベンチマーク（MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース））が20.7%の下落となったのに対して、基準価額は21.5%の下落となりました。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

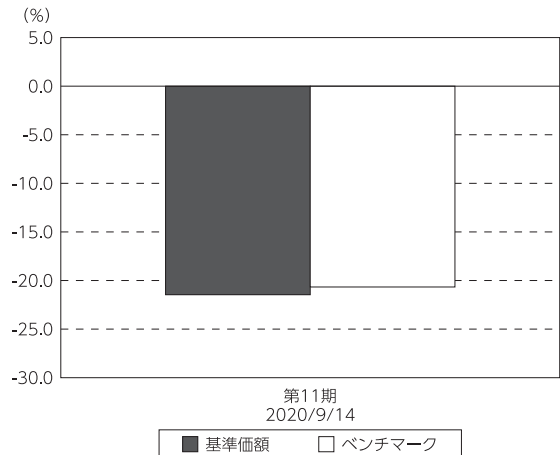
### （主なプラス要因）

- ①金価格の上昇が好感されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったインドネシアの金属・鉱業株をベンチマークより高い投資比率としていたこと
- ②ロックダウン（都市封鎖）下においても、堅調な業績が見込まれたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったフィリピンの食品・生活必需品小売り株をベンチマークより高い投資比率としていたこと

### （主なマイナス要因）

- ①世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、医療用ゴム手袋の需要増加の恩恵が見込まれたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったマレーシアのヘルスケア機器・用品株をベンチマークより低い投資比率としていたこと
- ②自動車販売の減速や、傘下の銀行の不良債権比率増加が懸念されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを下回ったフィリピンのコングロマリット（複合企業）株をベンチマークより高い投資比率としていたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース）です。

## ◎分配金

今期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり50円とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第11期
	2019年9月13日～ 2020年9月14日
当期分配金	50
（対基準価額比率）	0.440%
当期の収益	49
当期の収益以外	0
翌期繰越分配対象額	1,970

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### 【野村アセアン株マザーファンド】

#### ・投資環境

- ①アセアン経済については、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、アセアン各国で入国制限やロックダウンなどの感染拡大防止措置が採られたことにより、景気見通しが大幅に悪化しました。アセアン各国の4－6月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前年同期比で、1－3月期から大きく低下し、多くの国で2桁のマイナス成長を記録しました。アセアン各国で経済活動制限の緩和が進んでいるものの、一部の国では新規感染者数が引き続き高水準で推移しており、景気見通しのさらなる悪化や景気回復の遅れが懸念されます。これまで感染拡大防止に成功した国においても第2波のリスクが高まっていることもあり、アセアン地域全体での経済活動の正常化には時間がかかるものと見られ、先行き不透明な状況が続いています。引き続き、第2波を含めた世界的な新型コロナウイルスの感染状況や、ワクチンや治療薬の開発状況、アセアン各国での景気下支えのための金融・財政政策の動向を注視する考えです。短期的には、厳しい経済状況が続くことが想定される一方で、中長期的には、内需の底堅い成長に加えて、米中対立の深刻化やサプライチェーン（供給網）の分断リスクへの懸念を受けた、中国からアセアン各国への生産拠点の移転などによる投資の拡大を通じて、アセアン経済は堅調に推移すると見えています。
- ②アセアン各国の株式市場と通貨の動向は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大状況や経済活動の再開状況に加えて、米中対立などの政治リスクにより値動きの大きな展開が続くことが想定されます。世界的な金融緩和政策が市場の下支えとなることが期待されるものの、引き続きアセアン各国では外国人投資家の資金流出傾向が見られています。短期的には、不透明な経済環境と企業業績のさらなる悪化や、新型コロナウイルス感染の第2波に対する懸念などが、市場の重石となることが想定されます。一方で、中長期的には、投資環境の改善に繋がる構造改革の進展や、中間所得者層の増加に伴う消費の拡大や高度化を通じた構造的な成長要因により、堅調に推移すると見えています。世界的な金融緩和政策の長期化と、アセアン経済の本格的な回復が確認されていく過程で、投資家心理が改善し、外国人投資家が資金流入傾向に転じることが期待されます。国別配分では、新型コロナウイルスの感染拡大防止に成功し、経済活動の再開でも先行した結果、4－6月期にもプラス成長を維持したベトナムの投資比率を、第2波の動向を注視しながら、ベンチマークに比べて高めとする方針です。

#### ・投資方針

銘柄選択は、アセアン諸国の高成長の恩恵を受け、バリュエーションが割安と判断される銘柄を中心に投資する方針です。

### 【ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・アセアン・フォーカス）】

【野村アセアン株マザーファンド】 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行ないます。実質組入外貨建資産については、引き続き、為替ヘッジを行わない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年9月13日～2020年9月14日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 231	% 1.825	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(112)	(0.885)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(112)	(0.885)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 7 )	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.092	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 11 )	(0.084)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 1 )	(0.007)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	16	0.123	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 15 )	(0.122)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0 )	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	28	0.221	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 27 )	(0.217)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	287	2.261	
期中の平均基準価額は、12,635円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

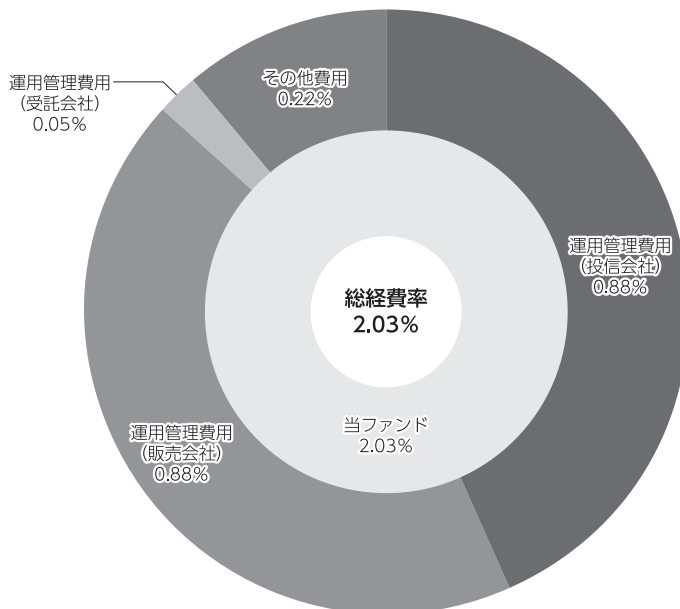
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報）****○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年9月13日～2020年9月14日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村アセアン株マザーファンド	千口 65,482	千円 125,412	千口 317,635	千円 584,297

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2019年9月13日～2020年9月14日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村アセアン株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	1,266,095千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,281,751千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.98	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年9月13日～2020年9月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年9月14日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村アセアン株マザーファンド	千口 814,617	千口 562,464	千円 926,998

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2020年9月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村アセアン株マザーファンド	926,998	98.2
コール・ローン等、その他	17,380	1.8
投資信託財産総額	944,378	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村アセアン株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（910,842千円）の投資信託財産総額（928,752千円）に対する比率は98.1%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=106.18円、1シンガポールドル=77.65円、1リンギ=25.56円、1バーツ=3.40円、1フィリピンペソ=2.19円、1ルピア=0.0072円、100ドン=0.46円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年9月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	944,378,117
コール・ローン等	15,641,980
野村アセアン株マザーファンド(評価額)	926,998,048
未収入金	1,738,089
(B) 負債	15,522,962
未払収益分配金	4,105,500
未払解約金	1,849,737
未払信託報酬	9,550,389
未払利息	26
その他未払費用	17,310
(C) 純資産総額(A-B)	928,855,155
元本	821,100,056
次期繰越損益金	107,755,099
(D) 受益権総口数	821,100,056口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,312円

(注) 期首元本額は1,163,076,715円、期中追加設定元本額は100,690,568円、期中一部解約元本額は442,667,227円、1口当たり純資産額は1,1312円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額4,585,845円。(野村アセアン株マザーファンド)

## ○損益の状況 (2019年9月13日～2020年9月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,739
支払利息	△ 2,739
(B) 有価証券売買損益	△222,347,933
売買益	66,808,614
売買損	△289,156,547
(C) 信託報酬等	△ 24,516,339
(D) 当期損益金(A+B+C)	△246,867,011
(E) 前期繰越損益金	△ 54,420,603
(F) 追加信託差損益金	413,148,213
(配当等相当額)	( 149,717,576)
(売買損益相当額)	( 263,430,637)
(G) 計(D+E+F)	111,860,599
(H) 収益分配金	△ 4,105,500
次期繰越損益金(G+H)	107,755,099
追加信託差損益金	413,148,213
(配当等相当額)	( 149,936,220)
(売買損益相当額)	( 263,211,993)
分準備積立金	11,901,800
繰越損益金	△317,294,914

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2019年9月13日～2020年9月14日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年9月13日～ 2020年9月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,044,546円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	149,936,220円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	11,962,754円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	165,943,520円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,020円
g. 分配金	4,105,500円
h. 分配金(1万口当たり)	50円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	50円
----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

# 野村アセアン株マザーファンド

## 運用報告書

第11期（決算日2020年9月14日）

作成対象期間（2019年9月13日～2020年9月14日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	アセアン（東南アジア諸国連合）加盟国の企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性、流動性等を総合的に勘案して、投資銘柄を選別します。また、トップダウン・アプローチによる国別配分、業種別配分を加味し、ポートフォリオを構築します。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	アセアン加盟国の企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
7期(2016年9月12日)	16,852	0.7	163.58	△1.6	93.4	—	1,396
8期(2017年9月12日)	19,739	17.1	196.81	20.3	98.5	—	1,338
9期(2018年9月12日)	19,469	△1.4	198.05	0.6	98.9	—	1,363
10期(2019年9月12日)	20,614	5.9	205.40	3.7	99.6	—	1,679
11期(2020年9月14日)	16,481	△20.0	162.95	△20.7	95.4	—	927

\*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*ベンチマーク(=MSCI AC ASEAN Index(税引後配当込み・円換算ベース))は、MSCI AC ASEAN Index(税引後配当込み・ドルベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

\*MSCI AC ASEAN Index(税引後配当込み・ドルベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。(出所) MSCI、ブルームバーグ、為替レート(対顧客電信売買相場仲値)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

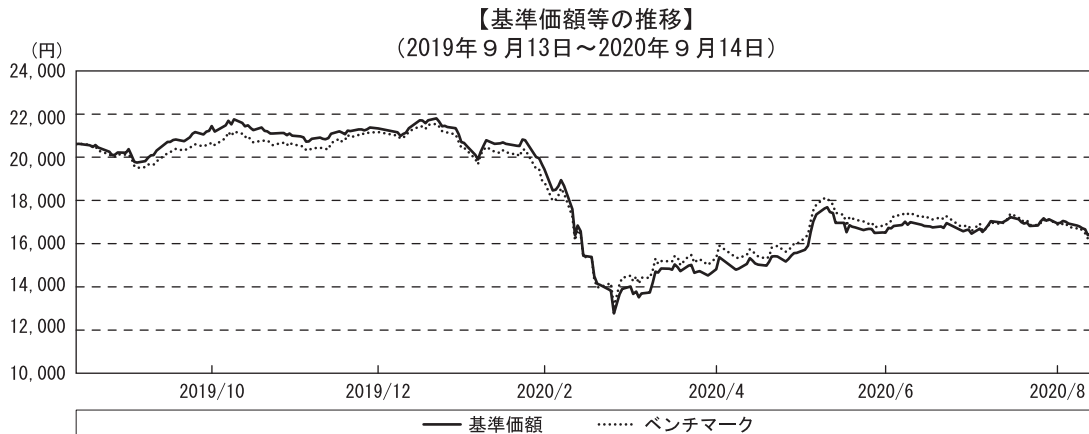
年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首)	円	%		%	%	%
2019年9月12日	20,614	—	205.40	—	99.6	—
9月末	20,208	△2.0	200.54	△2.4	95.3	—
10月末	21,443	4.0	206.17	0.4	97.8	—
11月末	21,003	1.9	205.21	△0.1	97.1	—
12月末	21,328	3.5	210.87	2.7	97.8	—
2020年1月末	20,506	△0.5	202.32	△1.5	96.7	—
2月末	19,437	△5.7	187.89	△8.5	97.2	—
3月末	13,664	△33.7	142.04	△30.8	95.8	—
4月末	14,816	△28.1	152.93	△25.5	96.0	—
5月末	15,566	△24.5	159.28	△22.5	96.0	—
6月末	16,509	△19.9	167.81	△18.3	96.1	—
7月末	16,465	△20.1	165.25	△19.5	95.5	—
8月末	16,939	△17.8	168.37	△18.0	96.3	—
(期末)						
2020年9月14日	16,481	△20.0	162.95	△20.7	95.4	—

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、MSCI AC ASEAN Index (税引後配当込み・円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首20,614円から期末16,481円となりました。

- (横ばい) 米国で「香港人権・民主主義法案」が成立したことを受け米中関係悪化が懸念された一方、米中貿易協議が部分合意に達し、世界景気の先行き不透明感が和らいだこと
- (下落) 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、世界的な経済活動の停滞による景気減速への懸念が高まったこと、為替市場で各投資対象通貨に対して円高が進行したこと
- (上昇) 米国やアセアン各国で大型の経済対策が成立したこと、欧米での新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化しているとの見方が広がり、アセアン各国の経済活動再開への期待が高まったこと、為替市場で各投資対象通貨に対して円安となったこと
- (下落) 世界的な新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感が高まったこと、米中対立の激化が懸念されたこと



## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・期中の主な動き

<投資比率を引き上げた主な業種・銘柄>

- ①資産の質が健全で、景気後退局面でも他社比で安定的な業績を維持出来ると判断したBANK CENTRAL ASIA（インドネシア／銀行）
- ②堅調な業績が見込まれ、バリュエーション（投資価値評価）が割安と判断したPUREGOLD PRICE CLUB INC（フィリピン／食品・生活必需品小売り）

<投資比率を引き下げた主な業種・銘柄>

- ①不良債権比率の増加や、海外銀行の買収案が懸念されたBANGKOK BANK (F)（タイ／銀行）
- ②株価が大きく上昇し、バリュエーションの割安感が薄れていたBANK BTPN SYARIAH TBK PT（インドネシア／銀行）

### ・為替ヘッジ

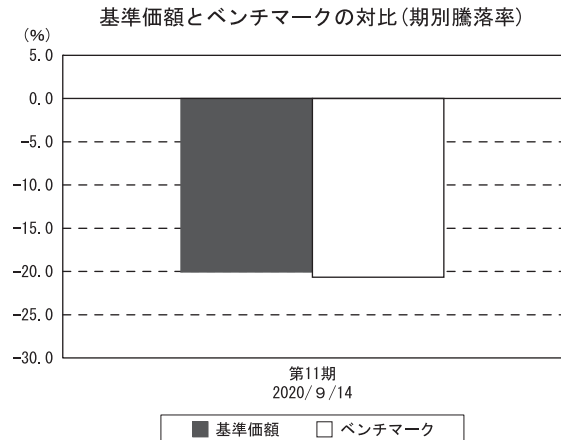
当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当期は、ベンチマーク（MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース））が20.7%の下落となったのに対して、基準価額は20.0%の下落となりました。

### （主なプラス要因）

- ①金価格の上昇が好感されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったインドネシアの金属・鉱業株をベンチマークより高い投資比率としていたこと
- ②ロックダウン（都市封鎖）下においても、堅調な業績が見込まれたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったフィリピンの食品・生活必需品小売り株をベンチマークより高い投資比率としていたこと



（注）ベンチマークは、MSCI AC ASEAN Index（税引後配当込み・円換算ベース）です。

## (主なマイナス要因)

- ①世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、医療用ゴム手袋の需要増加の恩恵が見込まれたことなどから、株価騰落率がベンチマークを上回ったマレーシアのヘルスケア機器・用品株をベンチマークより低い投資比率としていたこと
- ②自動車販売の減速や、傘下の銀行の不良債権比率増加が懸念されたことなどから、株価騰落率がベンチマークを下回ったフィリピンのコングロマリット（複合企業）株をベンチマークより高い投資比率としていたこと

## ◎今後の運用方針

### ○投資環境

- ①アセアン経済については、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、アセアン各国で入国制限やロックダウンなどの感染拡大防止措置が採られたことにより、景気見通しが大幅に悪化しました。アセアン各国の4-6月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前年同期比で、1-3月期から大きく低下し、多くの国で2桁のマイナス成長を記録しました。アセアン各国で経済活動制限の緩和が進んでいるものの、一部の国では新規感染者数が引き続き高水準で推移しており、景気見通しのさらなる悪化や景気回復の遅れが懸念されます。これまで感染拡大防止に成功した国においても第2波のリスクが高まっていることもあり、アセアン地域全体での経済活動の正常化には時間がかかるものと見られ、先行き不透明な状況が続いています。引き続き、第2波を含めた世界的な新型コロナウイルスの感染状況や、ワクチンや治療薬の開発状況、アセアン各国での景気下支えのための金融・財政政策の動向を注視する考えです。短期的には、厳しい経済状況が続くことが想定される一方で、中長期的には、内需の底堅い成長に加えて、米中対立の深刻化やサプライチェーン（供給網）の分断リスクへの懸念を受けた、中国からアセアン各国への生産拠点の移転などによる投資の拡大を通じて、アセアン経済は堅調に推移すると見えています。
- ②アセアン各国の株式市場と通貨の動向は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大状況や経済活動の再開状況に加えて、米中対立などの政治リスクにより値動きの大きな展開が続くことが想定されます。世界的な金融緩和政策が市場の下支えとなることが期待されるものの、引き続きアセアン各国では外国人投資家の資金流出傾向が見られています。短期的には、不透明な経済環境と企業業績のさらなる悪化や、新型コロナウイルス感染の第2波に対する懸念などが、市場の重石となることが想定されます。一方で、中長期的には、投資環境の改善に繋がる構造改革の進展や、中間所得者層の増加に伴う消費の拡大や高度化を通じた構造的な成長要因により、堅調に推移すると見えています。世界的な金融緩和政策の長期化と、アセアン経済の本格的な回復が確認されていく過程で、投資家心理が改善し、外国人投資家が資金流入傾向に転じることが期待されます。国別配分では、新型コロナウイルスの感染拡大防止に成功し、経済活動の再開でも先行した結果、4-6月期にもプラス成長を維持したベトナムの投資比率を、第2波の動向を注視しながら、ベンチマークに比べて高めとする方針です。

### ○投資方針

銘柄選択は、アセアン諸国の高成長の恩恵を受け、バリュエーションが割安と判断される銘柄を中心に投資する方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年9月13日～2020年9月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	円 17 (15) ( 1 )	% 0.092 (0.085) (0.007)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	22 (22) ( 0 )	0.123 (0.122) (0.001)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	40 (39) ( 0 )	0.218 (0.217) (0.001)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	79	0.433	
期中の平均基準価額は、18,157円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年9月13日～2020年9月14日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 6	千米ドル 92	百株 —	千米ドル —
	シンガポール	390	千シンガポールドル 267	4,305	千シンガポールドル 2,430
	マレーシア	3,309	千リンギ 1,982	10,369	千リンギ 4,335
	タイ	7,286	千バーツ 18,351	18,240	千バーツ 44,485
国	フィリピン	2,816 ( 455)	千フィリピンペソ 19,545 ( —)	21,411	千フィリピンペソ 53,961
	インドネシア	114,471 ( 47,740)	千ルピア 27,951,170 ( —)	134,314	千ルピア 38,680,589
	ベトナム	90 ( 307)	千ドン 1,038,872 ( —)	400	千ドン 888,610

\*金額は受け渡し代金。

\*金額は単位未満は切り捨て。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	シンガポール	口	千シンガポールドル	口	千シンガポールドル
	MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	37,000 ( —)	89 (△0.05055)	—	—
	LENLEASE GLOBAL COMMERCIAL	176,000 ( —)	160 (△ 0.704)	176,000	99
国	KEPPEL DC REIT	46,500	113	—	—
小 計		259,500 ( —)	363 (△0.75455)	176,000	99

\*金額は受け渡し代金。

\*金額は単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\*( )内は分割、合併、有償増資などによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○株式売買比率

(2019年9月13日～2020年9月14日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,266,095千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,281,751千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.98

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年9月13日～2020年9月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年9月14日現在)

## 外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額 千米ドル	邦貨換算金額 千円	
(アメリカ) SEA LTD-ADR	百株 —	百株 6	83	8,887	娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	— —	6 1	83 —	8,887 <1.0%>
(シンガポール)			千シンガポールドル		
SINGAPORE TECH ENGINEERING	2,800	2,160	736	57,193	航空宇宙・防衛
DBS GROUP HLDGS	580	405	830	64,500	銀行
CITY DEVELOPMENTS LTD	400	330	263	20,448	不動産管理・開発
SATS LTD	1,110	920	267	20,788	運送インフラ
CAPITALAND LIMITED	1,730	650	178	13,879	不動産管理・開発
HAW PAR CORP LTD	80	—	—	—	医薬品
UNITED OVERSEAS BANK	410	300	582	45,192	銀行
VENTURE CORP LTD	60	60	115	8,945	電子装置・機器・部品
WILMAR INTERNATIONAL LTD	—	250	105	8,153	食品
KEPPEL CORP.	1,470	—	—	—	コングロマリット
FIRST RESOURCES LTD	1,300	950	120	9,368	食品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	9,940 10	6,025 9	3,199 —	248,470 <26.8%>
(マレーシア)			千リンギ		
CIMB GROUP HOLDINGS BERHAD	2,269	—	—	—	銀行
PADINI HOLDINGS BERHAD	1,230	—	—	—	専門小売り
RHB BANK BHD	4,100	3,500	1,620	41,419	銀行
MISC BHD	2,350	1,000	755	19,297	海運業
MEGA FIRST CORP BHD	—	529	380	9,721	独立系発電事業者・エネルギー販売業者

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
		外貨建金額	邦貨換算金額			
(マレーシア)	百株	百株	千リンギ	千円		
SYARIKAT TAKAFUL MALAYSIA KELUARGA BERHA	850	600	294	7,529	保険	
QL RESOURCES BHD	—	450	432	11,041	食品	
AIIRASIA GROUP BHD	950	—	—	—	旅客航空輸送業	
BURSA MALAYSIA BHD	—	390	342	8,762	資本市場	
GENTING BHD	450	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー	
SCIENTEX BHD	—	520	469	11,988	化学	
IOI CORP	800	450	200	5,118	食品	
SIME DARBY BERHAD	3,500	2,000	454	11,604	コングロマリット	
小計	株数・金額	16,499	9,439	4,948	126,484	
	銘柄数<比率>	9	9	—	<13.6%>	
(タイ)			千バーツ			
BANGKOK BANK (F)	1,310	—	—	—	銀行	
LAND & HOUSES PUB - NVDR	1,034	—	—	—	不動産管理・開発	
CP ALL PCL-FOREIGN	2,650	1,400	8,820	29,988	食品・生活必需品小売り	
CHAROEN POKPHAND FOODS (F)	—	1,000	2,925	9,945	食品	
BANGKOK CHAIN HOSPITAL-F	—	2,600	3,848	13,083	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
PTT PCL (F)	4,200	3,130	10,955	37,247	石油・ガス・消耗燃料	
AIRPORTS OF THAILAND PCL (F)	1,400	1,240	7,223	24,558	運送インフラ	
CARABAO GROUP PCL-F	—	470	5,334	18,137	飲料	
PLAN B MEDIA PCL-F	6,200	—	—	—	メディア	
WHA CORP PCL-FOREIGN	31,000	27,000	7,938	26,989	不動産管理・開発	
小計	株数・金額	47,794	36,840	47,043	159,947	
	銘柄数<比率>	7	7	—	<17.3%>	
(フィリピン)			千フィリピンペソ			
AYALA LAND LTD	4,450	—	—	—	不動産管理・開発	
METROPOLITAN BANK & TRUST	3,500	—	—	—	銀行	
SM PRIME HLDGS	5,500	3,000	8,505	18,625	不動産管理・開発	
UNIVERSAL ROBINA CORP	—	380	5,506	12,058	食品	
AYALA CORPORATION	—	55	3,850	8,431	コングロマリット	
MEGAWIDE CONSTRUCTION CORP	4,200	—	—	—	建設・土木	
PUREGOLD PRICE CLUB INC	—	2,100	10,500	22,995	食品・生活必需品小売り	
GT CAPITAL HOLDINGS INC	180	155	6,293	13,781	コングロマリット	
D&L INDUSTRIES INC	6,000	—	—	—	化学	
小計	株数・金額	23,830	5,690	34,654	75,892	
	銘柄数<比率>	6	5	—	<8.2%>	
(インドネシア)			千ルピア			
AKR CORPORINDO TBK PT	2,679	—	—	—	商社・流通業	
CIPUTRA DEVELOPMENT TBK PT	26,000	9,150	603,900	4,348	不動産管理・開発	
GUDANG GARAM TBK	560	—	—	—	タバコ	
BANK MANDIRI	11,200	2,000	1,095,000	7,884	銀行	
BANK RAKYAT INDONESIA	3,700	—	—	—	銀行	
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK PT	6,050	2,500	2,350,000	16,920	建設資材	
BANK CENTRAL ASIA	—	2,630	7,765,075	55,908	銀行	
JASA MARGA (PERSERO) TBK PT	—	3,000	996,000	7,171	運送インフラ	
PAKUWON JATI TBK PT	35,000	—	—	—	不動産管理・開発	
SURYA SEMESTA INTERNUSA PT	—	24,000	936,000	6,739	建設・土木	
SARANA MENARA NUSANTARA PT	—	27,000	2,794,500	20,120	各種電気通信サービス	
BANK BTPN SYARIAH TBK PT	26,000	2,000	676,000	4,867	銀行	
INDUSTRI JAMU DAN FARMASI SI	11,200	8,850	1,323,075	9,526	パーソナル用品	
DIGITAL MEDIATAMA MAXIMA TBK PT	—	34,091	572,728	4,123	ソフトウェア	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(インドネシア)	百株	百株	千ルピア	千円		
MERDEKA COPPER GOLD TBK PT	11,935	47,000	7,661,000	55,159	金属・鉱業	
小 計	株 数 ・ 金 額	134,324	162,221	26,773,278	192,767	
	銘柄 数 < 比 率 >	10	11	—	< 20.8% >	
(ベトナム)			千ドン			
VIET NAM DAIRY PRODUCTS JSC	—	90	1,114,200	5,125	食品	
IMEXPHARM PHARMACEUTICAL JSC	438	569	2,712,486	12,477	医薬品	
SAIGON SECURITIES INC	1,100	1,276	2,009,700	9,244	資本市場	
KINH BAC CITY DEVELOPMENT SH	1,700	1,700	2,346,000	10,791	不動産管理・開発	
BANK FOR FOREIGN TRADE JSC	280	280	2,304,400	10,600	銀行	
SAIGON CARGO SERVICE CORP	180	180	2,228,400	10,250	航空貨物・物流サービス	
PETROVIETNAM POWER CORP	1,350	1,350	1,350,000	6,210	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	
HDBANK	500	500	1,517,500	6,980	銀行	
VINCOM RETAIL JSC	400	—	—	—	不動産管理・開発	
小 計	株 数 ・ 金 額	5,948	5,945	15,582,686	71,680	
	銘柄 数 < 比 率 >	8	8	—	< 7.7% >	
合 計	株 数 ・ 金 額	238,336	226,166	—	884,131	
	銘柄 数 < 比 率 >	50	50	—	< 95.4% >	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末		比 率		
		口 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(シンガポール)	口	口	千シンガポールドル	千円	%	
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	—	37,000	115	8,963	1.0	
KEPPEL DC REIT	—	46,500	133	10,398	1.1	
合 計	口 数 ・ 金 額	—	83,500	249	19,362	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	2	—	< 2.1% >	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2020年9月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	884,131	95.2
投資証券	19,362	2.1
コール・ローン等、その他	25,259	2.7
投資信託財産総額	928,752	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産(910,842千円)の投資信託財産総額(928,752千円)に対する比率は98.1%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=106.18円、1シンガポールドル=77.65円、1リンギ=25.56円、1パーツ=3.40円、1フィリピンペソ=2.19円、1ルピア=0.0072円、100ドン=0.46円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年9月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	928,752,465
コール・ローン等	23,441,966
株式(評価額)	884,131,719
投資証券(評価額)	19,362,804
未収配当金	1,815,976
(B) 負債	1,738,118
未払解約金	1,738,089
未払利息	29
(C) 純資産総額(A-B)	927,014,347
元本	562,464,686
次期繰越損益金	364,549,661
(D) 受益権総口数	562,464,686口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,481円

(注) 期首元本額は814,617,282円、期中追加設定元本額は65,482,550円、期中一部解約元本額は317,635,146円、1口当たり純資産額は1.6481円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・ノムラ・アジア・シリーズ(ノムラ・アセアン・フォーカス) 562,464,686円

## ○損益の状況 (2019年9月13日～2020年9月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	35,697,901
受取配当金	35,695,010
受取利息	9,517
支払利息	△ 6,626
(B) 有価証券売買損益	△326,179,275
売買益	82,932,771
売買損	△409,112,046
(C) 保管費用等	△ 2,859,197
(D) 当期損益金(A+B+C)	△293,340,571
(E) 前期繰越損益金	864,622,506
(F) 追加信託差損益金	59,930,410
(G) 解約差損益金	△266,662,684
(H) 計(D+E+F+G)	364,549,661
次期繰越損益金(H)	364,549,661

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。



## ＜お申し込み時の留意点＞

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2020年9月14日現在)

年 月 \ ファンド名	ノムラ・印度・フォーカス	ノムラ・アセアン・フォーカス	ノムラ・豪州・フォーカス	ノムラ・インドネシア・フォーカス	ノムラ・タイ・フォーカス
2020年9月	-	16	-	-	-
10月	2	29	-	28、29、30	13、23
11月	16、30	-	-	-	-
12月	25	25	24、25、28	22、23、24、25、28、29、30	7、10

年 月 \ ファンド名	ノムラ・フィリピン・フォーカス
2020年9月	-
10月	-
11月	2、30
12月	8、24、25、30

※ 2020年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。